愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	救急処置法		
担当者(Instructors)	三好 弥生	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

不慮の事故や急病になった場合は、医療機関に着くまでの適切な応急処置が重要である。そのため市民ができる一次救命処置や各種の応急手当に関する基本的な知識・技術・態度を学習する。とくに学校、スポーツ施設、福祉施設などをはじめ、人が大勢集まる場所で働こうと考えている人は、応急処置の方法を身につけていることが望ましい。ここでは、市民が行うことのできる急を要する処置方法と、学校や家庭のなかで起こりやすい傷病・症候の応急処置について学ぶことを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義演習
授業の方法(Class method)	講義及び演習を行う

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション（救急処置論の概要、日本の救急医療の現状）	オリエンテーション、救命の連鎖と応急手当、救急処置法に関する用語、応急処置、一般医療と救急医療の違い、救急医療の変遷、救急車の運用、赤十字救急法救急員について学ぶ	□
第2回	応急処置のための観察・生命兆候の観察と実態	救命の連鎖、迅速な応急手当、応急手当のための観察、全身の観察、生命徴候の観察及び実際を学ぶ	□
第3回	意識障害の観察と評価・心肺停止とは	意識の確認、意識障害の観察・評価、救急蘇生法の重要性を学ぶ	□
第4回	呼吸循環の仕組み	呼吸循環のしくみ（生体に必要な栄養と酸素、循環、脳の関与、生命の維持）を学ぶ	□
第5回	心肺停止の判断	心肺停止の判断、心肺停止の病態（心停止、呼吸停止、心電図について）を学ぶ	□
第6回	心肺蘇生のABC	心肺蘇生法のＡＢＣ（気道の確保、人工呼吸、心臓マッサージ）を学ぶ	□
第7回	一次救命処置の演習	市民が行う応急処置、除細動について、一次救命処置の演習（練習用AEDを用いた救急処置法）を学ぶ	□
第8回	市民が行う応急処置１	傷害の手当の基本、開放性傷害及び応急手当（傷の手当の実際）、非開放性傷害・打撲・重症外傷（鈍的外傷）、骨折の分類（非開放性・開放性骨折の分類・観察・応急手当・固定・合併症・治癒機転）を学ぶ	□
第9回	市民が行う応急処置２	皮膚の構造と生理、熱傷の受傷状況、熱傷の受傷面積、熱傷の深度とその特徴、熱傷の病態、熱傷の応急手当を学ぶ	□
第10回	学校保健	家庭や学校での傷害、学校の保健室、（学校医、学校薬剤師、養護教諭）、学校で生じる事故を学ぶ	□
第11回	傷病に対する応急処置	傷害・傷病に対する応急処置についての対応を学ぶ	□
第12回	体温の調整（熱中症・低体温症・発熱）	体温調節のしくみ、体温の変動要因、熱中症の分類と病変、熱中症の応急手当、熱中症の代表的な冷却法、熱中症の予防、低体温症とは、低体温症の応急手当、発熱のメカニズム、発熱の原因となる疾患、発熱の伴う随伴症状、発熱時のケアを学ぶ	□
第13回	行政の災害救助・応急対応	災害・そのとき、近年国内における災害事例、災害の種類、災害医療とは、災害医療体制、搬送法について、搬送の準備・方法を学ぶ	□

第14回	中毒・異物に対する応急処置と医薬品	主な中毒の種類、日本中毒情報センター、代表的な中毒起因物質（医薬品、農薬など）、急性中毒の診断、急性中毒の応急手当、異物について、気道異物の要因、気道異物の観察及び応急手当、消化管異物の要因及び応急手当、医薬品とは何か、医薬品の区分、薬理作用による影響とその要因、薬の薬物動態、医薬品についての教育を学ぶ	□
第15回	全体のまとめ	全体を振り返り確認テストを実施する	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、次回の授業内容に該当する資料・テキストを読み、専門用語を理解する（2時間程度）。 授業後は、課題・レポートを作成する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題・レポートは確認、添削した後、次の授業時にフィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	**◇ 2019人間健康DP1**	一次救命処置の基本的な知識や傷病、症候に対する応急手当の知識と手技を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力	**◆ 2019人間健康DP2**	一次救命について問題意識をもち解決方法を探求できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

確認テスト・課題レポートの提出（70%）演習への参加、積極性（30%）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	毎回資料を配布する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	山本保博監修『図解 応急手当ハンドブック』、日本文芸社	978-4-537-214112-3
2		
3		
4		
5		